

調査・事例報告

松本中心市街地における観光客の動向調査・研究(VI)

眞次 宏典・葛西 和廣・成 耆政・横山 満・鈴木 尚通

Survey on the behaviors of visitors to the old town in Matsumoto (VI)

MATSUGU Hironori, KASAI Kazuhiro, SUNG Kijung,
YOKOYAMA Mitsuru, SUZUKI Naomichi

要 旨

2016年5月28・29日に長野県松本市県(あがた)のあがたの森公園で「クラフトフェアまつもと2016」が開催された。同28日(土)に、松本大学総合経営学部の学生有志と松商学園高等学校商業科の生徒の有志を調査員として、第6回のアンケート調査を行った。今回の調査も、前回(2015年5月)と同様に、「クラフトフェアまつもと2016」の影響も含めて、観光客から見た松本の魅力を探り、松本中心市街地を活性化するためのヒントとなる基礎データを収集するために行われた。本稿では、2016年5月28日の松本中心市街地における観光客の動向を調査・分析し、報告するものである。

キーワード

松本 松本城 クラフトフェアまつもと2016 自然の風景

目 次

I. 序

II. 調査結果の分析

1. 来訪者の年齢層
2. 旅行日程と宿泊先
3. 旅行相手と主な交通手段
4. 松本への来訪回数と現在地での滞在時間
5. 今回の旅行で訪れた場所(予定を含む)
6. 松本における飲食店の利用
7. 土産物とその購入代金
8. 「クラフトフェアまつもと」に来場した回数と会場における滞在時間
9. 興味のある出展品、購入したものと会場における支出
10. 松本の印象

III. 結

付録. 2016年度アンケート票

謝辞

文献

I. 序

「クラフトフェアまつもと2016」が松本市県（あがた）のあがたの森公園で開催された2016年5月28日（土）午後13時頃から16時頃まで、松本市中町、縄手通り、松本城公園において、松本大学総合経営学部の学生と松商学園高等学校商業科の生徒が合同して、松本中心市街地を訪れる観光客に対してアンケート調査を行った。中町における調査¹⁻⁵⁾は今回で6回目となる。当日は晴れで気温は11時には19.1℃、午後1時には22.4℃であった。

アンケートに対する回答者は、長野県内からの来訪者が142人、県外からの来訪者が302人、合計444人で、2015年の調査よりも36人減少した。長野県内からの来訪者142人の性別は、男性53人（37.3%）、女性89人（62.7%）、県外からの来訪者302人の性別は、男性130人（43.0%）、女性165人（54.6%）、未記入7人（2.3%）であった。

長野県からの来訪者142人の中で市町村名を記述した人は25人で、松本市12人、安曇野市6人、長野市2人、岡谷市1人、佐久市1人、塩尻市1人、下諏訪町1人、茅野市1人であった。県外からの来訪者は302人中286人の居住都府県の記入があり、その内訳は、東京都53人、千葉県45人、愛知県33人、神奈川県27人、静岡県16人、岐阜県15人、埼玉県15人、茨城県13人、群馬県10人、新潟県8人、大阪府7人、三重県7人、石川県6人、奈良県6人、山梨県5人、福井県4人、栃木県2人、京都府2人、岩手県2人、長崎県2人、宮城県2人、兵庫県1人、香川県1人、徳島県1人、北海道1人、愛媛県1人、エジプト1人であった。回答者444人の中で、今年（2016年）の「クラフトフェアまつもと2016」に行ったかの質問に対して

はい（行った）と答えた人は174人、いいえ（行かなかった）と答えた人は257人であった。

以下では444票の回答を、長野県内（142人）、とその他都道府県（県外）（302人）に分けて集計した結果を基本に、「クラフトフェアまつもと2016」参加者の回答を交えて報告する。

II. 調査結果の分析

来訪者444人の性別は、単純集計をすると男性183人（41.2%）、女性254人（57.2%）、未記入7人（1.6%）であった。長野県内からの来訪者142人の性別は、男性53人（37.3%）、女性89人（62.7%）、県外からの来訪者302人の性別は、男性130人（43.0%）、女性165人（54.6%）、未記入7人（2.3%）であった。来訪者の男女比は全体として女性の方が多く、特に県内からの来訪者で女性の占める比率が高いことが明らかである。

1. 来訪者の年齢層

図1に来訪者の年齢層別の集計結果を示す。長野県内からの来訪者では、年代別で多い方から、20歳代20.4%（29人）、40歳代19.0%（27人）、60歳代14.8%（21人）、50歳代14.1%（20人）、30歳代13.4%（19人）、20歳未満12.7%（18人）、70歳以上5.6%（8人）の順であった。県外からの来訪者では、同じく年代別で多い方から、50歳代19.9%（60人）、30歳代13.2%（40人）、60歳代16.6%（50人）、40歳代21.2%（64人）、20歳代9.9%（30人）、20歳未満12.9%（39人）、70歳代6.0%（18人）の順であった。県内からの来訪者では20歳代が比較すると一番多いのに対して、県外からの来訪者では一番少ない。

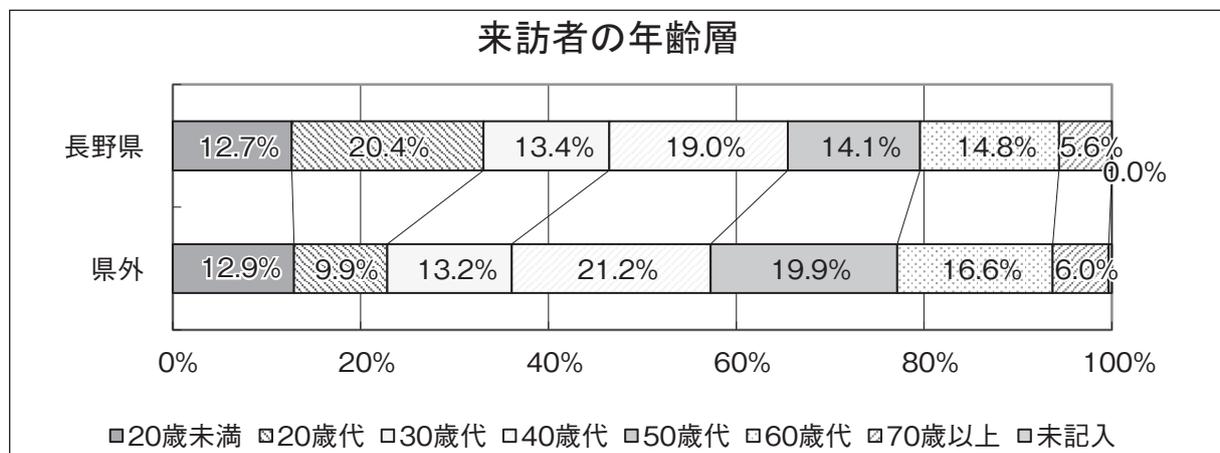


図1. 来訪者の年齢層

これは交通機関や時間、費用などの面で県外からの旅行者が松本市を選択するためにはハードルが存在すること、そして地元の若者の場合には(当然ながら)そのようなコストが生じないことが原因として考えられる。他方において、50歳以上の来訪者を比較すると、長野県11.3%(12人)、県外28.6%(34人)で、県外の方が倍以上多い。これは県外からの観光客にとって、上記のハードルを越えて松本市を選択することが容易であることが考えられる。

2. 旅行日程と宿泊先

来訪者の旅行日程を図2に示す。長野県からの来訪者は、日帰り78.2%(111人)、未記入12.0%(17人)で、宿泊を伴う場合は1泊2日5.6%(8人)、2泊3日4.2%(6人)であった。なお、3泊4日以上は

いなかった。

これに対して長野県外からの来訪者は、1泊2日41.7%(126人)、日帰り31.8%(96人)、2泊3日22.8%(69人)、3泊4日3.6%(11人)で、宿泊を伴う人は68.2%(206人)であった。長野県外からの観光客の場合、日帰りのケースが3割強あるが、宿泊を伴うケースが7割近くになる。

次に、来訪者の宿泊先に関する集計結果を図3に示す(複数回答あり)。長野県外からの来訪者の宿泊先は、松本市外27.7%(57人)、市内ビジネスホテル20.9%(43人)、市内その他19.4%(40人)、浅間温泉10.7%(22人)、美ヶ原温泉7.3%(15人)の順であった。上記の選択肢のうち、松本市外が27.7%であり、それ以外はすべて松本市内となるため、4分の3近くが松本市内に宿泊していることが

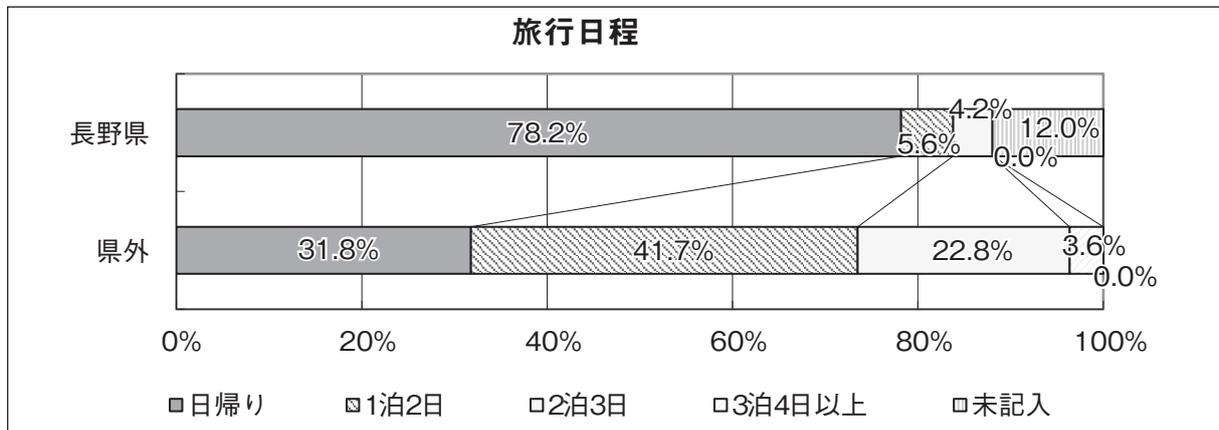


図2. 来訪者の旅行日程

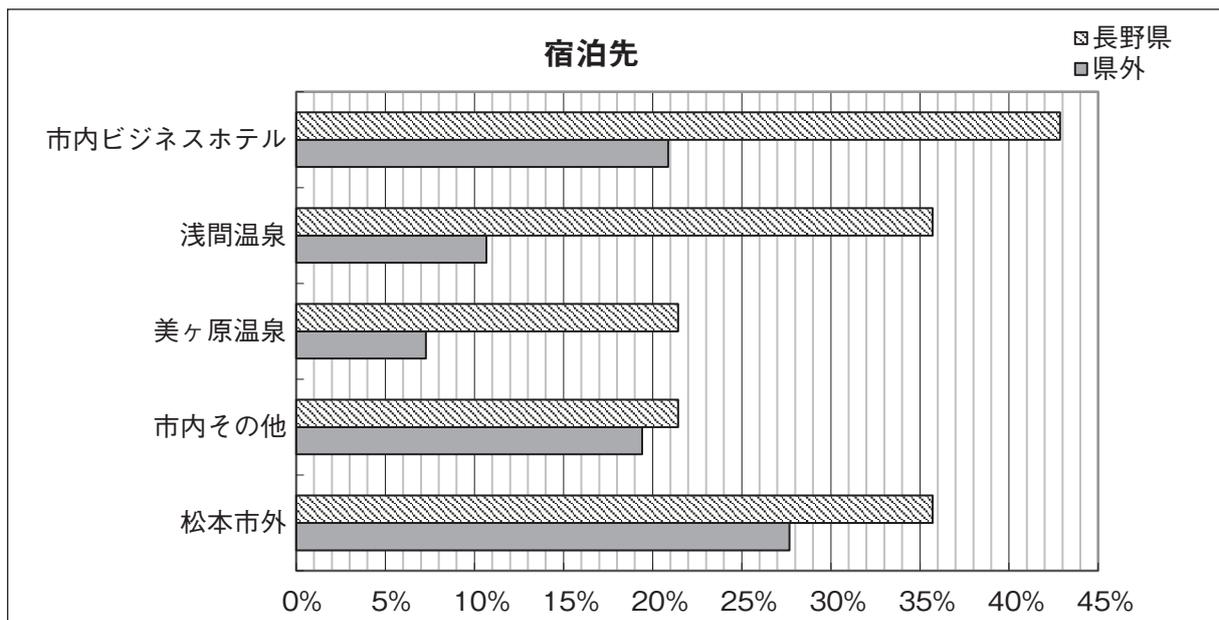


図3. 来訪者の宿泊先

分かった。

3. 旅行相手と主な交通手段

旅行相手を集計した結果を図4に示す。長野県内からの来訪者の旅行相手は、友人知人26.8% (38人)、家族(子連れ) 17.6% (25人)、単独15.5% (22人)、夫婦15.5% (22人)、家族(大人のみ) 12.7% (18人)、未記入7.7% (11人)、カップル(未婚) 3.5% (5人)、その他0.7% (1人)の順となっている。長野県外からの来訪者の旅行相手は、友人知人27.5% (83人)、夫婦24.2% (73人)、家族(子連れ) 13.6% (41人)、家族(大人のみ) 12.3% (37人)、単独8.9% (27人)、その他6.6% (20人)、カップル5.3% (16人)、未記入1.7% (5人)の順となっている。両者を比較すると県外からの来訪者の特徴として、夫婦が多いことと単独者が少ないこ

とがあげられる。

来訪者の主な交通手段(複数回答可)を図5に示す。長野県内からの来訪者は、マイカー43.7% (62人)、徒歩26.1% (37人)、鉄道(JR) 22.5% (32人)、自転車9.2% (13人)、バイク1.4% (2人)、タクシーと市内路線バスと観光バスと未記入が0.7% (1人)の順であった。これに対して長野県外からの来訪者は、マイカー46.0% (139人)、鉄道(JR) 31.8% (96人)、観光バス14.9% (45人)、徒歩7.0% (21人)、中央高速バス4.6% (14人)、バイクと市内路線バスが共に3.0% (9人)、自転車とその他が共に2.0% (6人)、タクシーと飛行機が共に0.3% (1人)の順であった。

県内県外ともにマイカーが最も多い。鉄道(JR)も多いが、県外からの来訪者の方が10ポイント近く多い。また、県外からの来訪者の場合、観光バス

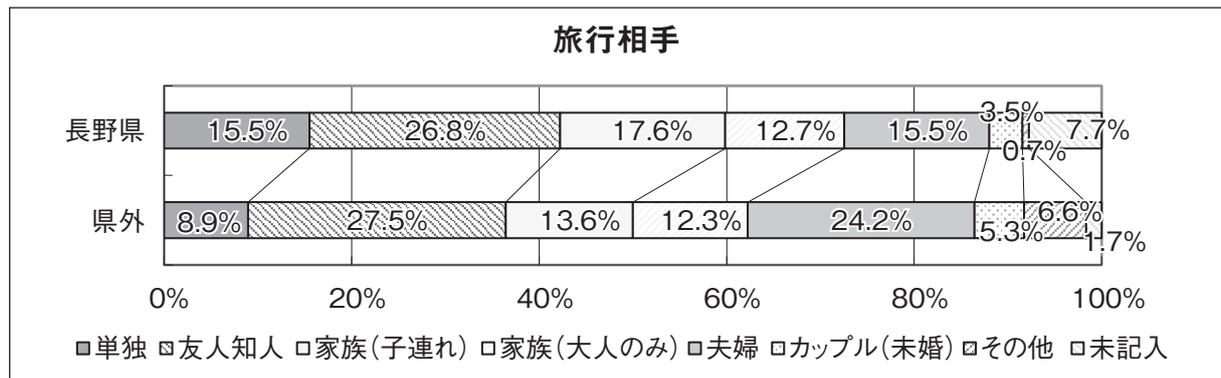


図4. 来訪者の旅行相手

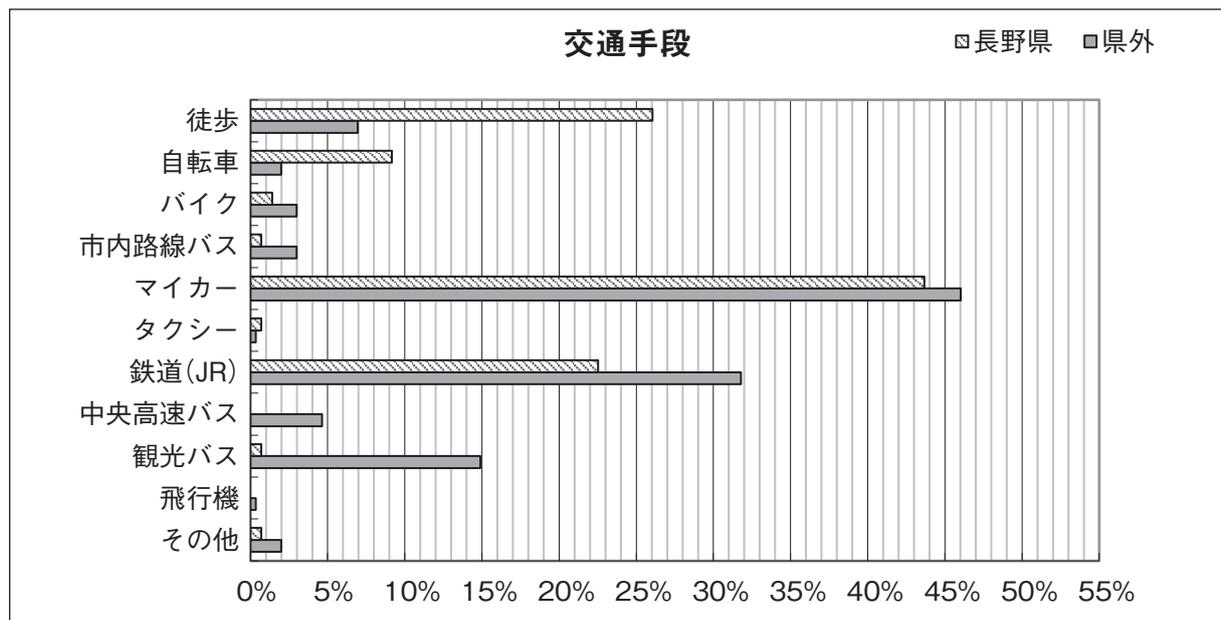


図5. 来訪者の主な交通手段

と中央高速バスが多いのも特徴である。逆に言えば、県内からの来訪者はこれらの交通手段を選択しないということでもある。

4. 松本への来訪回数と現在地での滞在時間

松本への来訪回数は、長野県内からの来訪者の場合、10回以上57.7% (82人)、3~5回16.2% (23人)、はじめて14.1% (20人)、2回と6~9回が共に4.9% (7人)、未記入2.1% (3人)であった。長野県外からの来訪者は、はじめて37.1% (112人)、3~5回27.2% (82人)、2回18.9% (57人)、10回以上8.6% (26人)、6~9回7.0% (21人)、未記入1.3% (4人)の順であった。注目すべきは、県外からの来訪者に占めるリピーター率の高さである。6割以上がリピーターであり、3回以上のリピーターが42.7% (129人)、2回が56.0% (169人)を占めている。

現在地(中町、縄手通りとその周辺)における滞在時間に対する集計結果を図7に示す。長野県からの来訪者は、30分以上1時間未満24.6% (35人)、1時間以上2時間未満19.0% (27人)、3時間以上4時間未満11.3% (16人)、4時間以上18.3% (26人)、30分未満14.1% (20人)、未記入2.1% (3人)の順であった。長野県外からの来訪者は、4時間以上26.2% (79人)、1時間以上2時間未満22.8% (69人)、2時間以上3時間未満18.2% (55人)、30分以上1時間未満16.6% (50人)、3時間以上4時間未満11.9% (36人)、30分未満3.3% (10人)、未記入1.0% (3人)の順であった。1時間未満が19.9% (60人)、3時間以上が38.1% (115人)を占めている。

時間以上2時間未満19.0% (27人)、4時間以上18.3% (26人)、30分未満14.1% (20人)、3時間以上4時間未満11.3% (16人)、2時間以上3時間未満10.6% (15人)、未記入2.1% (3人)の順であった。1時間未満が38.7% (55人)、3時間以上が29.6% (42人)を占めている。

長野県外からの来訪者の滞在時間は、4時間以上26.2% (79人)、1時間以上2時間未満22.8% (69人)、2時間以上3時間未満18.2% (55人)、30分以上1時間未満16.6% (50人)、3時間以上4時間未満11.9% (36人)、30分未満3.3% (10人)、未記入1.0% (3人)の順であった。1時間未満が19.9% (60人)、3時間以上が38.1% (115人)を占めている。

5. 今回の旅行で訪れた場所(予定を含む)

今回の旅行で訪れた場所(訪れる予定の場所を含む)(複数回答可)に対する集計結果を図8に示す。長野県からの来訪者は、あがたの森47.2% (67人)、松本城34.5% (49人)、その他23.2% (33人)、旧開智学校と松本市立美術館と美ヶ原ともに3.5%

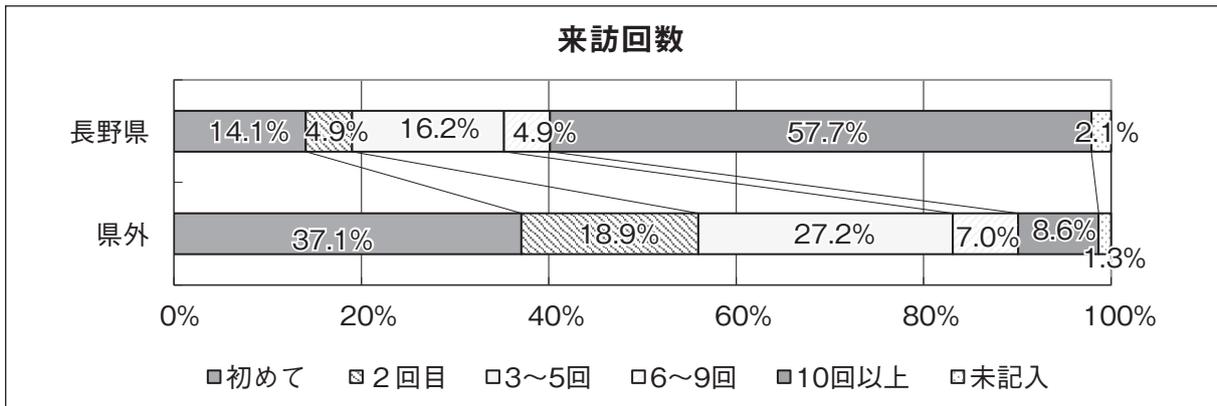


図6. 松本への来訪回数

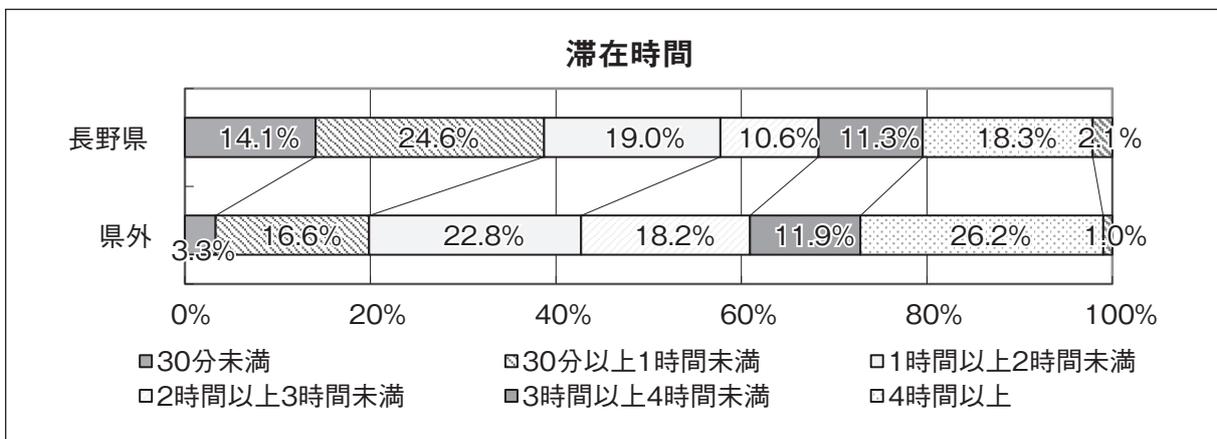


図7. 現在地での滞在時間

(5人)、上高地0.7% (1人) の順であった。長野県外からの来訪者は、松本城66.2% (200人)、あがたの森39.4% (119人)、その他12.9% (39人)、上高地9.9% (30人)、松本市立美術館8.6% (26人)、旧開智学校7.6% (23人)、美ヶ原6.0% (18人) の順であった。

6. 松本における飲食店の利用

長野県内からの来訪者は、71.1% (101人)、県外からの来訪者は91.4% (276人) が飲食をしている (図9参照)。飲食店の利用率については、当然ながら県内からの来訪者の方が低いが、それでも7割強が何らかの形の飲食店を利用したことがわかる。

飲食したもの (複数回答可) に関する集計結果を図10に示す。長野県内からの来訪者は、喫茶

41.6% (42人)、そば14.9% (15人)、和食11.9% (12人)、その他9.9% (10人)、イタリアン8.9% (9人)、中華5.9% (6人)、カレー5.0% (5人) の順であった。他方、県外からの来訪者は、そば63.4% (175人)、喫茶22.5% (62人)、その他11.2% (31人)、和食9.1% (25人)、カレー4.0% (11人)、イタリアン3.3% (9人)、中華1.1% (3人) の順であった。ここでは一般的な「長野県 (信州) =そば」というイメージが県外来訪者には強いこと、そして他方において地元長野県内からの来訪者にとっては、そばが特別なもの=松本市内で食べるものとして意識されていないことがうかがえる。

7. 土産物とその購入代金

「お土産を買いましたか (予定を含む)」という設問

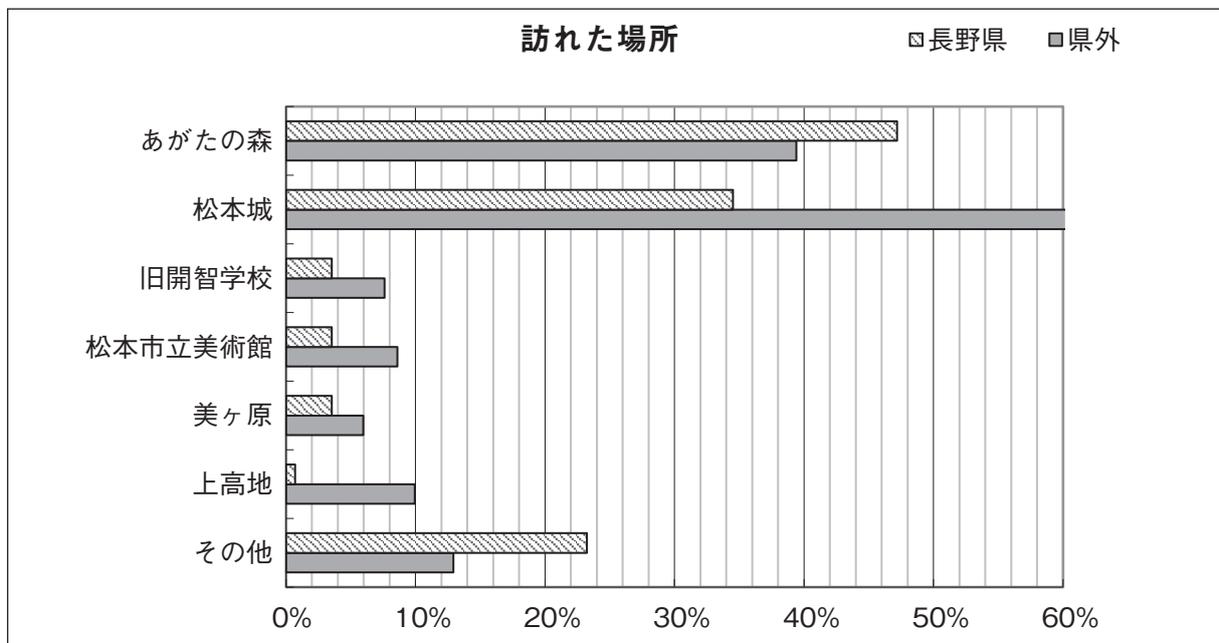


図8. 今回の旅行で訪れた場所 (予定を含む)

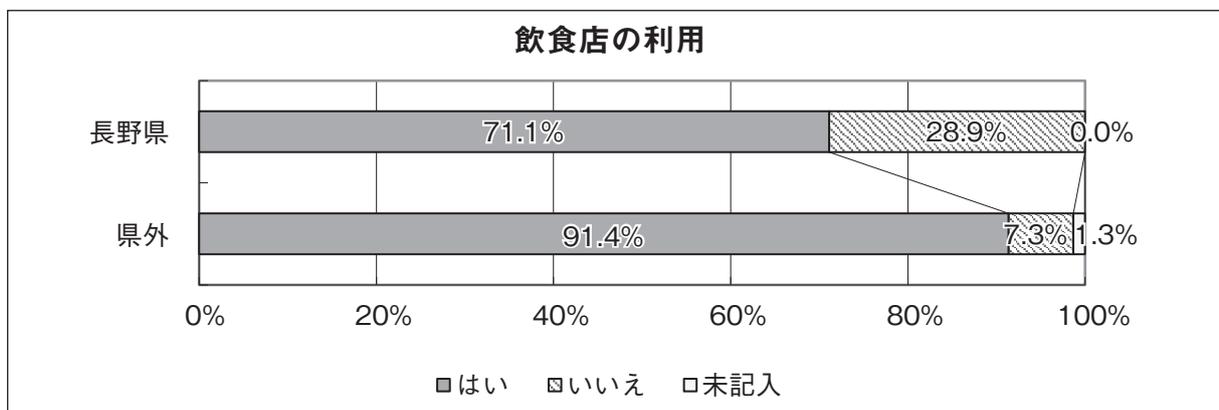


図9. 飲食店の利用

に対する集計結果を図11に示す。長野県からの来訪者は、はい(買う)39.4%(56人)、いいえ(買わない)58.5%(83人)、未記入2.1%(3人)、県外からの来訪者ははい89.4%(270人)、いいえ9.9%(30人)、未記入0.7%(2人)であった。県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりも土産物を買う比率が50ポイント高くなっているが、県外からわざわざ来訪している観光客の場合、このように土産物の購入が多いのは当然とも言える。むしろ、買わないが10%近くいることに注目すべきかもしれない。なぜ、彼ら・彼女らは土産物を買わないのかについて、今後の調査をすることも必要だろう。

購入した(購入予定を含む)土産物に関する集計

結果(複数回答可)を図12に示す。土産物を購入した長野県からの来訪者56人の内訳は、お菓子53.6%(30人)、漬け物17.9%(10人)、その他12.5%(7人)、探しているものがある10.7%(6人)、酒5.4%(3人)、そば1.8%(1人)の順であった。土産物を購入した長野県外からの来訪者270人は、お菓子57.0%(154人)、そば20.0%(54人)、漬け物15.9%(43人)、その他12.2%(33人)、酒10.7%(29人)、探しているものがある5.9%(16人)の順であった。ここでも県外からの来訪者に占めるそばの比率が高い。「そばの街松本」というイメージはそれほど古くからあるものではないのだが、現在は定着していると言ってよいだろう。

土産物を購入した長野県からの来訪者56人と県

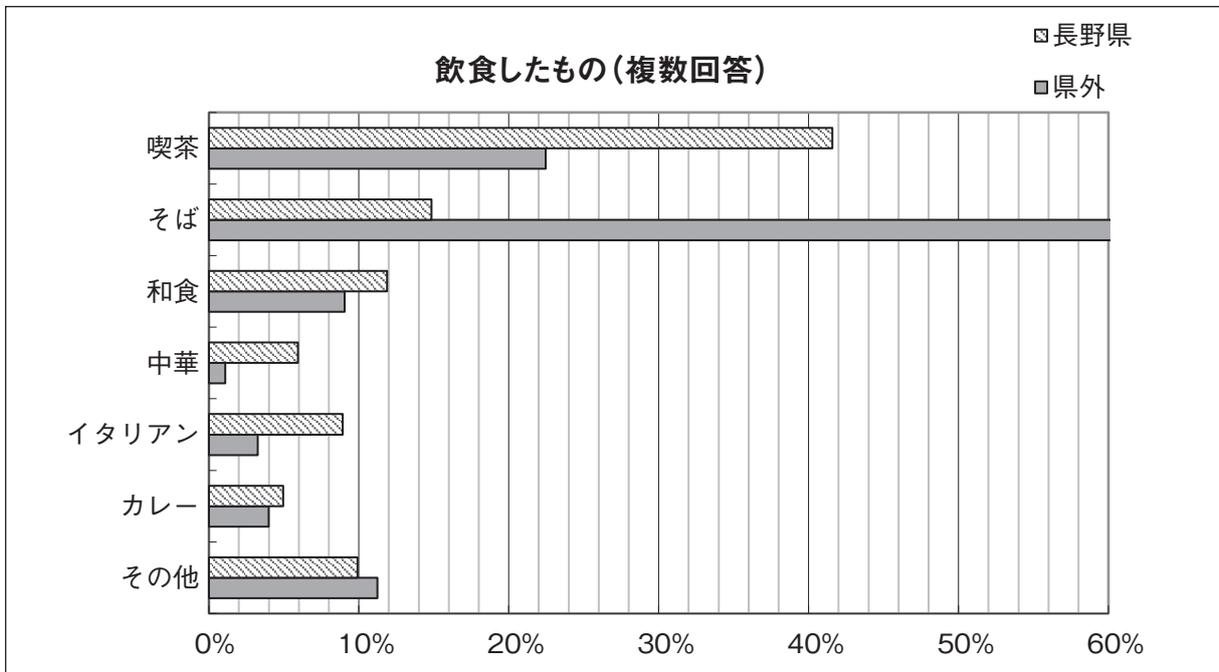


図10. 飲食したもの

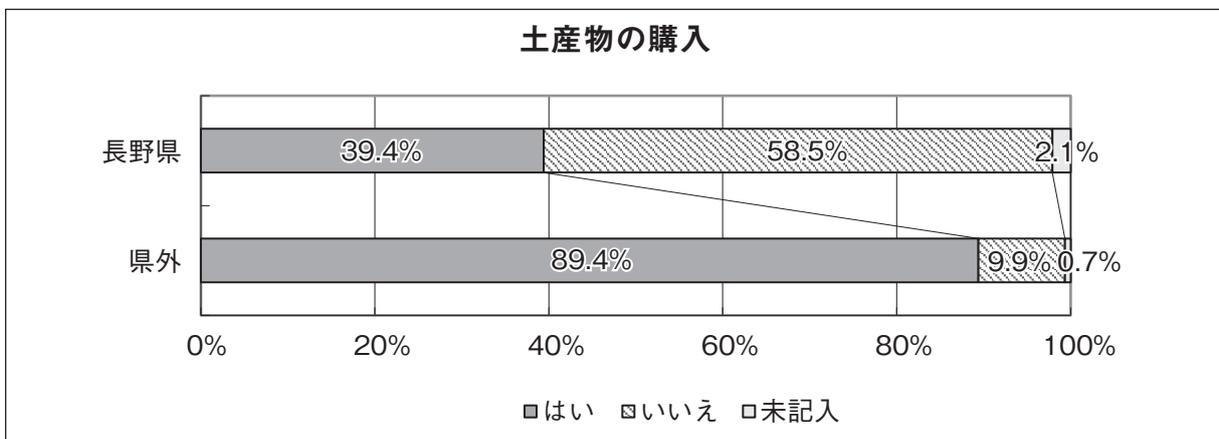


図11. 土産物の購入

外からの来訪者270人の土産物に対する支出額を集計した結果を図13に示す。長野県からの来訪者は、2千円以上6千円未満41.1% (23人)、2千円未満25.0% (14人)、6千円以上1万円未満16.1% (9人)、1万円以上2万円未満7.1% (4人)、未記入5.4% (3人)、2万円以上5万円未満3.6% (2人)、5万円以上1.8% (1人) の順であった。他方、長野県外からの来訪者は、2千円以上6千円未満38.1% (103人)、2千円未満21.1% (57人)、6千円以上1万円未満20.4% (55人)、1万円以上2万円未満11.1% (30人)、2万円以上5万円未満と未記入ともに4.4% (12人)、5万円以上0.4% (1人) の順であった。

8. 「クラフトフェアまつもと」に来場した回数と会場における滞在時間

以下では2016年の「クラフトフェアまつもと2016」に来場したと回答した174人(長野県56人、県外118人)に対して行った、「クラフトフェアまつもと2016」に関する質問の回答結果を示す。まず、今までに何回来場したかの質問に対する集計結果を図14に示す。長野県からの来訪者は、はじめて35.7% (20人)、3~5回30.4% (17人)、2回目19.6% (11人)、10回以上10.7% (6人)、6~9回3.6% (2人) の順であった。これに対して、長野県外からの来訪者は、はじめて49.2% (58人)、3~5回26.3% (31人)、2回目14.4% (17人)、6~9回目7.6% (9

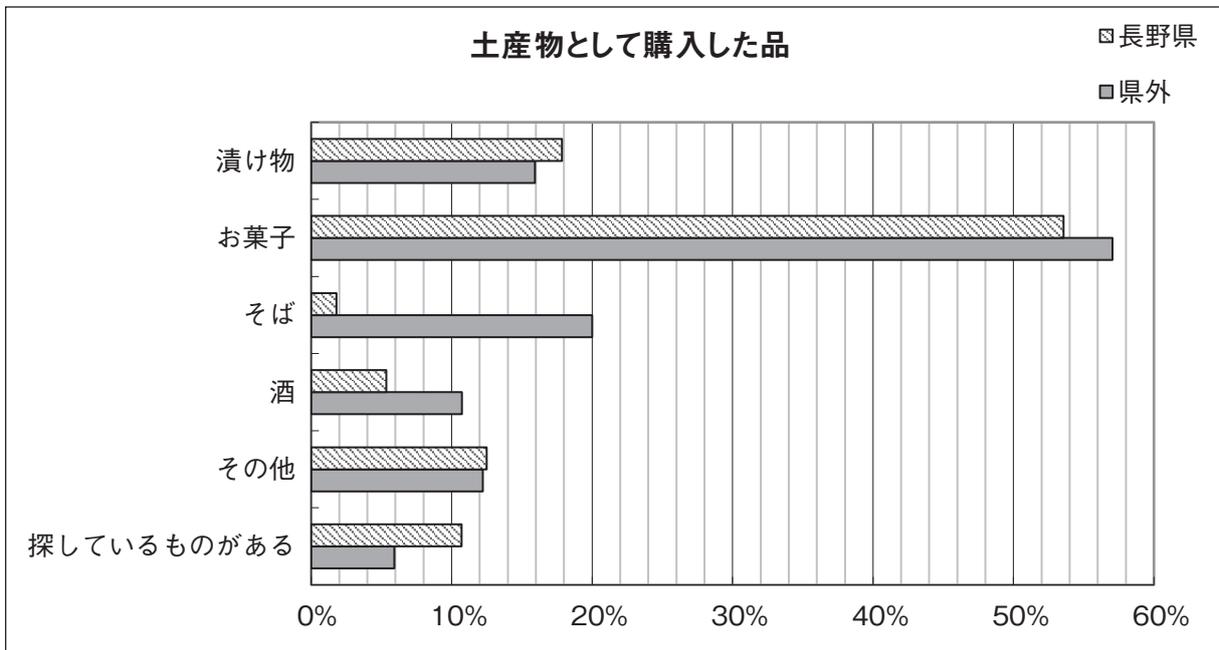


図12. 土産物として購入した品

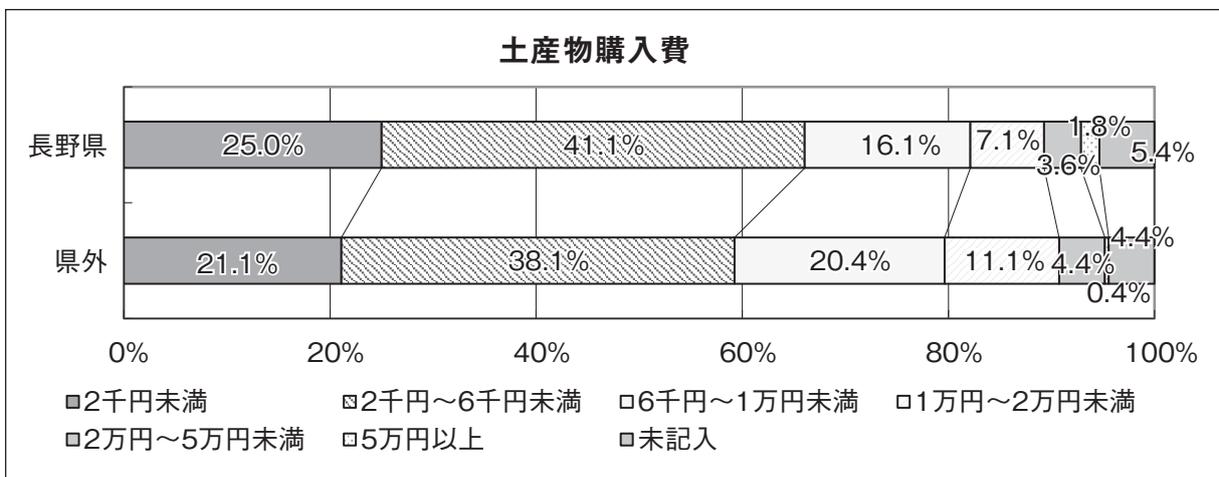


図13. 土産物購入費

人)、10回以上1.7%(2人)、未記入0.8%(1人)の順であった。来場回数について見ると、初来場の比率が高いのは別として、リピーターの比率が高いことは注目に値する。特に、3回以上の来場者が多いことは、「クラフトフェアまつもと」が県内外からの来場を呼ぶイベントとして定着してきていることを示す資料とも言えるだろう。

「クラフトフェアまつもと2016」会場で過ごした時間を図15に示す。長野県内からの来訪者は、1時間以上2時間未満35.7%(20人)、30分以上1時間未満30.4%(17人)、2時間以上3時間未満12.5%(7人)、30分未満と3時間以上4時間未満ともに8.9%(5人)、4時間以上3.6%(2人)となっている。

長野県外からの来訪者は、1時間以上2時間未満35.6%(42人)、2時間以上3時間未満30.5%(36人)、3時間以上4時間未満12.7%(15人)、30分以上1時間未満11.0%(13人)、4時間以上5.1%(6人)、30分未満3.4%(4人)となっている。

長野県内外からの来訪者の回答を比べると、県外からの来訪者では初来場と6~9回が県内からの来訪者に比べて多いことが目立つ。特に、6~9回の回答が県内来訪者に比べて倍以上と多い。ただし、10回以上の来場となると、県内来訪者の方が6倍以上多い。多数回来場が6~9回と10回との間で逆転することの理由については分からない(アンケート回答者の記憶の正確性の問題もある)。

9. 興味のある出展品、購入したものと会場における支出

「クラフトフェアまつもと2016」出展品の中で興味のあるものに関する集計結果(複数回答可)を図16に示す。長野県からの来訪者は、木工・漆44.6%(25人)、陶磁器37.5%(21人)、ガラス30.4%(17人)、金属21.4%(12人)、染織・フェルト19.6%(11人)、アクセサリと食品と皮革ともに17.9%(10人)、服飾12.5%(7人)、材料・道具8.9%(5

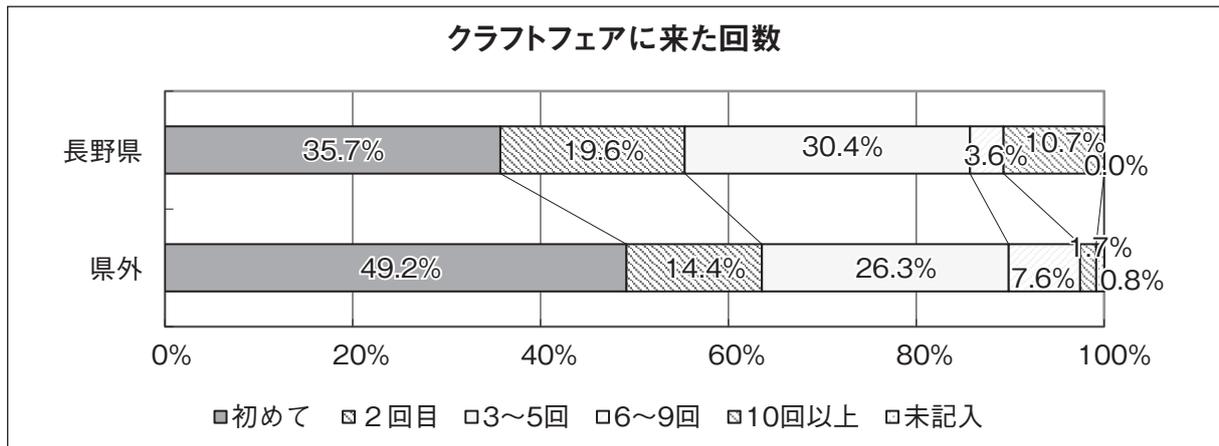


図14. クラフトフェアに来た回数

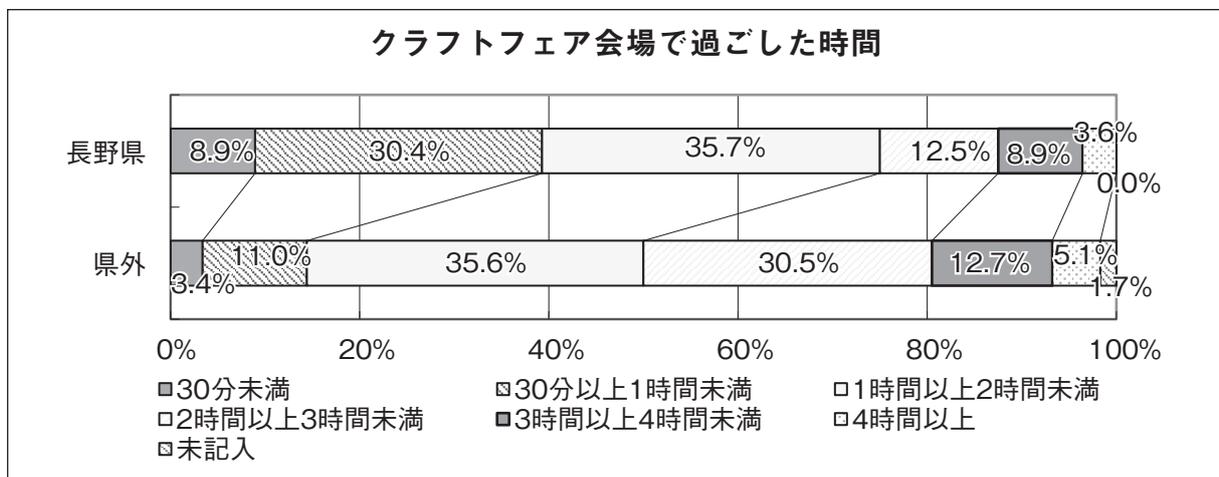


図15. クラフトフェア会場で過ごした時間

人)、その他5.4% (3人) との順であった。他方、長野県外からの来訪者は、陶磁器53.4% (63人)、木工・漆47.5% (56人)、ガラス32.2% (38人)、アクセサリ-27.1% (32人)、皮革23.7% (28人)、染織・フェルト22.9% (27人)、金属21.2% (25人)、食品16.1% (19人)、材料・道具7.6% (9人)、服飾6.8% (8人)、その他2.5% (3人) の順であった。

県内来訪者と県外来訪者に共通して言えることは、陶磁器、木工・漆、ガラスの回答が多いことである。これは特に陶磁器と木工・漆について選択した県外来訪者の場合に顕著である。

「クラフトフェアまつもと2016」における支出に

関する集計結果を図17に示す。具体的に支出金額 (の範囲) を記入してくれた回答者は、長野県からの参加者 (26人)、長野県外からの参加者 (79人) であった。「クラフトフェアまつもと2016」の会場で「何を買いましたか」という質問に対して記述式の回答を求めた。以下がその集計結果である (長野県内からの来訪者のものを表1aに、県外からの来訪者のものを表1bに掲載する)。

10. 松本の印象

最後に、松本に対する印象についての回答を以下に示す。長野県内からの来訪者 (142人) の意見

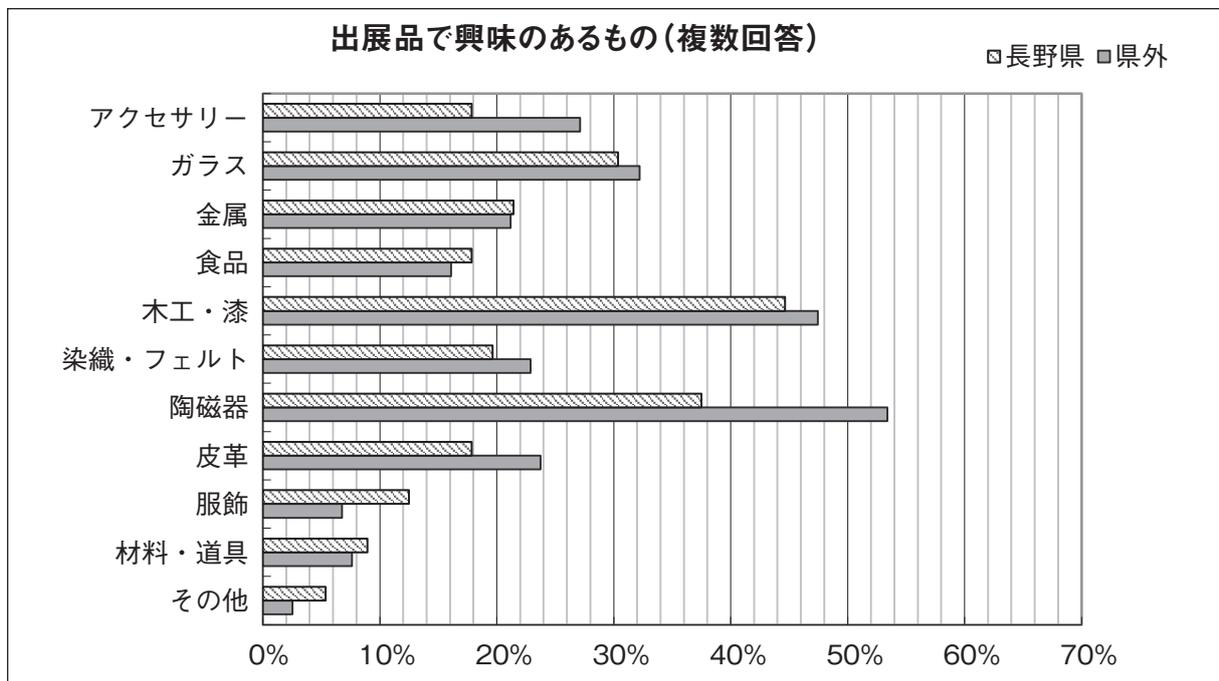


図16. 出展品の中で興味のあるもの

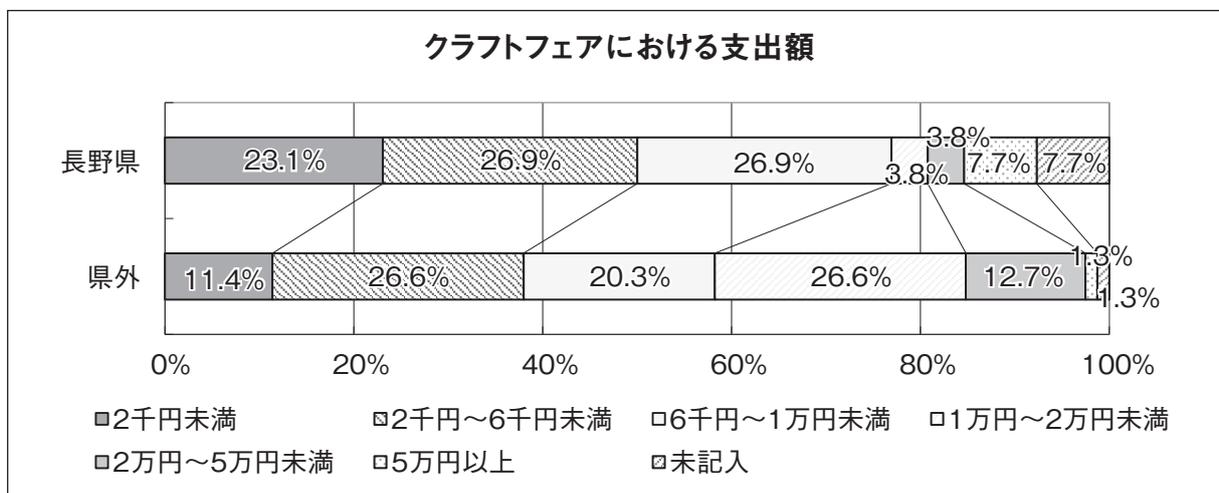


図17. クラフトフェアにおける支出

を表2に、来訪回数2回以下の長野県外からの来訪者(169人)の意見を表3aに、来訪回数3回以上の長野県外からの来訪者(133人)の意見を表3bに示す。県外からの来訪者で来訪回数を未記入の方2人は、松本に対する意見も未記入であった。

長野県からの来訪者からは、「駐車場がない」、「渋滞が多い」等問題点を指摘するコメントがあるが、「街の雰囲気」に好印象を抱いている意見が多い。

表1a. 「クラフトフェアまつもと2016」会場で購入したもの(長野県)

品目	個数	品目	個数	品目	個数
糸	3	手作りゴマ(子供が工作)	1	タオル	1
陶器	2	飲食のみ	1	ピアス	1
パン	2	木の笛	1	手ぬぐい	1
クッキー	2	ブローチ	1	コーヒー	1
食器	2	漆工芸品	1	本	1
食品	2	これから	1	革製品	1
アクセサリー	1	プレゼント	1	染織物	1
マフィン	1	カゴ	1	金属品	1

表1b. 「クラフトフェアまつもと2016」会場で購入したもの(県外)

品目	度数	品目	度数	品目	度数
アクセサリー	13	布	2	ストール	1
糸	6	ピアス	2	そばちょこ	1
器	5	いた	1	タオル	1
お菓子	5	一輪指し	1	竹かご	1
木工品	5	鉛筆キャップ	1	茶碗	1
皿	5	岡モーター	1	陶器	1
バッグ	5	オブジェ	1	日用品	1
食器	4	カーペット	1	風鈴	1
パン	4	花瓶	1	古本	1
ブローチ	4	ぐいのみ	1	へら	1
コップ	3	靴	1	ポーチ	1
陶磁器	3	クッキー	1	ボタン	1
マグカップ	3	車	1	雑貨	1
梅干し	2	ケーキ	1	手芸材料	1
置物	2	財布	1	食品	1
革製品	2	ざる	1	染物	1
手ぬぐい	2	ジャム	1		

表2. 長野県からの来訪者の松本に対する意見

Q12意見(県内)
素晴らしい街
とてもいい町
学生のころから何度か来ていて、いずれ住みたいのが実現できてうれしい
長野駅前と違ってとても楽しめます
道がわかりにくい
街並みがきれい 緑があって環境がいいと思います

友人にお勧めできる
またぶらぶらしたい
きれいな町
駐車場の確保
いろいろな施設があって楽しめるとてもいい町だと思う
地元ですが歩くといい町だなと思います
松本城まで遠い
何回でも来たいと思える
町並みがきれい
素敵な町になりました
にぎわっている文化的な町
昔とあまりかわらずいい
地域の話し合い・助け合いが必要
観光地としてバス・電車で訪れるのは最高。でも渋滞が多く、車(自車)は不便です
街なみを生かした開発をお願いしたい。
これからも素敵な街でいてください
きれい
おしゃれで素敵な街だと思います
市民としてはTown Sneakerが減便されて困っている。歩くには広すぎる
今のままで
街がきれい。自然がきれい
上田から来ましたが、比喩物にならないくらい見れるお店があって、歩いているだけで楽しいです
歴史を感じるいい街並み
水がきれい
いいところだと思います
交通アクセスがいい
おしゃれな感じ
一方通行が追い
小さいカフェが良い
きれいな城下町でまた来たい
いいところ
イベントが多く、雑貨や喫茶系統でのイベントをしてください
一方通行少なくして
来るたびに進化していて、何回でも遊びに来たくなります

表3a. 来訪回数2回以下の長野県外からの来訪者の松本に対する意見

Q12意見(県外、来訪回数2回以下)
美しい街
景色がきれい
教育に力を入れている
自然が豊かきれい
特になし
歩いて楽しい町でした
歴史ある建物を生かした街づくりが素敵だと思います
きれいな町でいいところ
素敵なおところ

いいまちなのしかった
松本城が素敵
松本城コンパクトでいいですね
とても素敵な市でぜひまた来たいと思います今いる通りが特に素敵ですね
いい場所
涼感
交通の便がいい
きれいな街でいいところです。歩道と車道が狭く接触しそうになりました
観光よりも住んでみたい場所である
美人が多い
町のデザイン性が高い
松本最高
国宝の素晴らしさを大変良かったです
古い建物を生かしたお店が素敵
楽しかった
おしゃれなお店が多い
町が美しいと思いました 古いものが活用しており魅力的でした
ギター工場の見学に行きたい
楽しいし、景色がきれい
高く背すごいと思った
自然がたくさん
すばらしい!大好きです
道が狭くて渋滞する
光るものがない
ステキ。新しい。古いが調和している
とてもきれいな町でここに住みたいと思いました!
とてもきれいでいろいろみるところがいっぱい
女性が綺麗
いいところだと思います
城がありきれいな街です
レトロさと新しさが混じる素敵な雰囲気
水がきれいでした
水がきれいです
すごく楽しい
水がきれいですね
初めてきました。今から松本城に入るのが楽しみです。またゆっくりきたいです
街並みが好きです
非常に落ち着いて歴史を感じた
さまざまな作家さんたちがすごしやすい、やさしいところだと思います
水がきれい
とてもいいところですね
探索中(2)
駐車場の不備
きれい

表3b. 来訪回数3回以上の長野県外からの来訪者の松本に対する意見

Q12意見 (県外、来訪回数3回以上)
いいところ
来訪するたびに新しいお店ができていて楽しんでいます。昔ながらの代々続いている商店の魅力は地方都市ならで肌と思うのでそういうお店にがんばっていただきたいです
いいところ大好き
もっとアピール (クラフトフェア)
松本の活性化がんばってください。
街がきれい
交通アクセスが良い
毎回楽しみに訪問しています
落ち着いて素敵な街
町が素敵
美しい街並みが素敵でした
おしゃれな街ですね。人々もやさしいです
大好きです
町がコンパクトでいい
歩道を広く整備してほしい
名所がたくさんありよかった
松本城の入場料が高い
毎年楽しみ
いいところ
自然豊か
古い町並みで素晴らしい街
いろいろな通りがあり楽しい
城がすごい
空気がきれい
城がすごい
住みやすそうで住みたい
文化的な感じ、楽しさあり
いつきてもすばらしい町
きれいな町並み
特になし
お城がきれいで大きい
お城がいい、安曇野がいい
階段が急。お城
大好き
駐車場の設備をしてほしいです。歩行者が歩きづらそう
とてもいい街で大好きです。特に新緑が美しい
松本はきれいなイメージ
関西からのアクセスをもっとよくしてほしい
アクセスを良くしてほしい。古い建物を大切に
大好きな街です。ファンです
大変すばらしい
バスの便が悪い。不便。便が少ない
何となく来てみたいけど
とても美しい町並みで素晴らしいと思います

Ⅲ. 結

以下ではアンケート調査の解析結果を要約し、それらに対して若干の考察を行う。

1. 来訪者の年齢層と旅行相手

長野県内からの来訪者は、30歳代以下46.5% (66人)、50歳以上34.5% (49人)で、長野県外からの来訪者は、30歳代以下36.1% (109人)、50歳以上42.4% (128人)であった。長野県内の方が県外よりも30歳代以下で約10ポイント高く、逆に、50歳以上で約8ポイント低い。県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりも若干年齢が高い傾向にある。この要因の一つとして、旅行費用の問題があることは考えられる。県内、特に松本市内やその周辺に居住していれば費用の問題はほとんど無視できるであろう。しかし、県外からの移動を伴う場合、自動車、JR、高速バスなどの移動費用、さらには宿泊を伴う場合の宿泊費は負担として大きなものとなる。それは若年層にとってはハードルの一つとなると見られる。

長野県内からの来訪者と県外からの来訪者の旅行相手で、最も差があるものは夫婦であった。これは長野県内15.5% (22人)、県外24.2% (73人)と県外からの来訪者の方が約9ポイント高い。2番目に差があるものは単独で、長野県内15.5% (22人)、県外8.9% (27人)と、長野県内の方が約6ポイント高くなっている。3番目に差があるものはその他で、長野県内0.7% (1人)、県外6.6% (20人)と長野県内の方が5.9ポイント低い。4番目に差があるものは家族(子連れ)で、長野県内17.6% (25人)、県外13.6% (41人)と長野県内の方が約4ポイント高い。4番目に差があるものはカップル(未婚)で、長野県内3.5% (5人)、県外5.3% (16人)と長野県内の方が2ポイント低い。

このように見たとき、県外からの来訪者では単独旅行は少なく、なんらかの同伴者、特に夫婦で来訪している場合が多いと言える。逆に県内からの来訪者の場合に単独の散策または買い物などの目的による来訪が目立つと見てよいだろう。

2. 旅行日程と宿泊先

長野県外からの来訪者(302人)の68.2% (206人)は宿泊を伴う旅行をしている。その内の126人(41.7%、126/206)は1泊2日、80人(26.5%、80/206)は2泊3日以上であった。松本市内の温泉

に宿泊した人は37人で、浅間温泉22人、美ヶ原温泉15人であった。温泉は県外からの観光客には魅力の一つであると言ってよいだろう。観光資源としての温泉地が市内にあることは松本市の強みの一つである。

3. 松本中心市街地への来訪回数

長野県内からの来訪者(142人)は、2回以下19.0% (27人)、3~9回21.1% (30人)、10回以上57.7% (82人)であった。居住する市町村名を記入した人は25人なので正確なことはいえないが、半数近くは松本近隣の市町村から来訪している可能性がある。長野県外からの来訪者(302人)は、2回以下56.0% (169人)、3回以上42.7% (129人)に大別される。2回以下の来訪者がより多様な魅力を松本市およびその周辺に見いだして、リピーターになってくれることが望まれる。

4. 訪れた場所

訪れた場所は、長野県からの来訪者(142人)はあがたの森47.2%、松本城34.5%、その他23.2%の順となっている。長野県外からの来訪者(302人)は、松本城66.2%、あがたの森39.4%の順となっている。松本城と北アルプスという景観としての観光資源があるのだから、これを生かした観光戦略が現在でもとられているが、これが一定の成功を収めていることは明らかであろう。

5. クラフトフェアへの参加状況

長野県内からの来訪者(142人)は39.4% (56人)が「クラフトフェアまつもと2016」に参加し、長野県外からの来訪者(302人)は39.1% (118人)が参加している。

「クラフトフェアまつもと2016」における支出金額(の範囲)を具体的に記入した人の平均支出額を見ると、長野県内からの参加者(24人)は10,542円、長野県外からの参加者(78人)は11,859円であった。記入者の数が少ないので確定的なことは言えないが、県外からの来訪者が高額であることは当然のように思われるものの、その差額が大きいことは注目される。

6. 松本の印象

松本の印象については、概して好印象であるとの回答が多い。長野県内からの来訪者の松本に対する愛着は強いことがうかがえる。長野県外から

の来訪者も、来訪回数にはよらず、松本に対して好印象を持っていることが、表3aと表3bのコメントからうかがえる。松本の自然（空気、水、風景）、街並み、城には高い評価をしているようである。松本または長野県ならではの、食事、お土産物（お菓子、手芸品、工芸品など）などにも魅力を見いだしていただければ、松本を訪れてくれる機会も増えていくかもしれない。

本アンケート調査に参加した学生および生徒は、松本大学総合経営学部総合経営学科葛西ゼミナール（有賀悠介、永平有花、西村峻、二村有紀、林純平、山本亮介）、成ゼミナール（大久保光祐、片桐賢人、杵渕拓実、清水恒希、花崎友基、水野佑紀、鷺澤裕二）、総合経営学部観光ホスピタリティ学科眞次ゼミナール（新井諒、中村優汰）、および松商学園高等学校ビジネス情報技術部（BIT部）掛川佳那、上条愛実、白川幸、征矢野華那、摩壽意笑衣、荻原咲奈、唐澤知輝、中倉風花、平林若葉、熊井玲乃、腰腹大雅、佐山春香、矢崎葵、相澤美怜、榛葉美優、鳥羽唯花、二村きらり、樋口真奈、福嶋美緒、南澤彩夏、三野勝也であった。

なお、本稿はアンケート調査に基づき、松本中心市街における観光客の動向を分析した論文の性格上、各著者の分担部分を明確に特定することは不可能であることをお断りしておく。

謝辞

2016年度の調査を行う際にも、中町商店街、縄手商店街の方々に協力していただきました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

文献

- 1) 鈴木尚通、葛西和廣、田中正敏、横山満「松本中心市街地における観光客の動向に関する調査研究（Ⅰ）」『地域総合研究』第13号、pp.33-46（2012.9）
- 2) 葛西和廣、成耆政、横山満、鈴木尚通「松本中心市街地における観光客の動向に関する調査研究（Ⅱ）」『地域総合研究』第14号、pp.103-121（2013.9）
- 3) 葛西和廣、成耆政、横山満、鈴木尚通「松本中心市街地における観光客の動向に関する調査研究（Ⅲ）」『地域総合研究』第15号、pp.81-98（2014.9）
- 4) 葛西和廣、成耆政、横山満、鈴木尚通「松本中心市街地における観光客の動向に関する調査研究（Ⅳ）」『地域総合研究』第16号、pp.85-100（2015.7）
- 5) 眞次宏典、葛西和廣、成耆政、清水聡子、横山満、樋口剛志、鈴木尚通「松本中心市街地における観光客の動向に関する調査研究（Ⅴ）」『松本大学研究紀要』第14号、pp.105-121（2016.1）

松本中心市街地を訪れた方に対するアンケート調査

Q0 調査地点 (①中町, ②縄手通り, ③松本城) 2016.5.28(土)

Q1 居住地	a【①長野県 ②その他() 都・道・府・県】 b()市町村
Q2a 性別	①男 ②女
2b 年齢	①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
Q3a 旅日程	①日帰り ②1泊2日 ③2泊3日 ④3泊4日以上
3b 宿泊先 (複数可)	松本市内【①ビジネスホテル ②浅間温泉 ③美ヶ原温泉 ④その他()】 松本市外【⑤() ⑥() ⑦()】
Q4 旅行相手	①単独 ②友人知人 ③家族(子連れ) ④家族(大人のみ) ⑤夫婦 ⑥カップル(未婚) ⑦その他()
Q5 交通手段 (複数可)	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④市内路線バス ⑤マイカー ⑥タクシー ⑦鉄道(JR) ⑧中央高速バス ⑨観光バス ⑩飛行機 ⑪その他()
Q6 来訪回数	①はじめて ②2回目 ③3~5回目 ④6~9回目 ⑤10回以上
Q7 滞在時間 (中町付近の)	①30分未満 ②30分以上~1時間未満 ③1時間以上~2時間未満 ④2時間以上~3時間未満 ⑤3時間以上~4時間未満 ⑥4時間以上
Q8 訪問場所 (複数可)	①あがたの森(クラフトフェア会場) ②松本城 ③旧開智学校 ④松本市立美術館 ⑤美ヶ原 ⑥上高地 ⑦その他1() ⑧その他2()
Q9a 飲食	①する(予定を含む) ②しない ” しない” の方は Q10a へ!
Q9b (複数可)	①喫茶 ②蕎麦 ③和食 ④中華 ⑤イタリアン ⑥カレー ⑦その他() 店名()
Q10a お土産	①買う(予定を含む) ②買わない ” 買わない” の方は Q12 へ!
Q10b (複数可)	①漬け物 ②お菓子 ③蕎麦 ④酒() ⑤その他() ⑥土産として探しているもの()
Q11 購入金額 (含予定)	①2千円未満 ②2千円~6千円未満 ③6千円~1万円未満 ④1万円~2万円未満 ⑤2万円~5万円未満 ⑥5万円以上
Q12 松本に 対する ご意見	

Q13 今年のクラフトフェアに行かれましたか (①はい, ②いいえ) ” いいえ” の方は終わりです!

Q14 クラフトフェアに今までに何回来たことがありますか

①はじめて ②2回目 ③3~5回 ④6~9回 ⑤10回以上

Q15 クラフトフェアの会場で何時間ぐらい過ごされましたか(予定を含む)

①30分未満 ②30分以上~1時間未満 ③1時間以上~2時間未満
④2時間以上~3時間未満 ⑤3時間以上~4時間未満 ⑥4時間以上

Q16 クラフトフェアに出展されたどんなものに興味がありますか(予定を含む) (5つまで選択)

①アクセサリ ②ガラス ③金属 ④食品 ⑤木工・漆 ⑥染織・フェルト
⑦陶磁器 ⑧皮革 ⑨金属 ⑩服飾 ⑪材料・道具 ⑫その他()

Q17a クラフトフェア会場における支出(含予定) (①ある, ②ない) ” ない” の方は終わりです!

Q17b ①2千円未満 ②2千円~6千円未満 ③6千円~1万円未満
④1万円~2万円未満 ⑤2万円~5万円未満 ⑥5万円以上

Q18 会場で何を買いましたか

ご協力ありがとうございました!!!

松本大学 総合経営学部・松商学園高等学校